

1. 基本情報							
事務事業コード	0103040102050102	事務事業名	法外援護災害救助事業	担当部	保健福祉部		
				担当課	保健福祉政策課		
政策名	02	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)		担当課長	西田 正志		
施策名	05	危機管理・防災力の充実と防災意識の向上		グループ	政策グループ		
基本事業名	01	災害に強い防災基盤の整備と災害復旧対策の推進		内線番号	2023		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 31 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費			根拠法令・条例等	霧島市法外援護災害救助条例	
	項	04 災害救助費					
目	01 災害救助費		関連計画	なし			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内に住居を有する市民が、災害救助法の適用基準に達しない火災その他の天災地変等により、人命及び住家に損害を受けたときは、次のとおり救助費を支給している。

- ・死亡者があつた場合・・・1人につき100,000円
- ・住家が全焼、全壊等の場合・・・1世帯につき50,000円
- ・罹災による著しき負傷者・・・1人につき30,000円
- ・住家の半焼半壊・・・1世帯につき30,000円
- ・住家の一部類焼・・・1世帯につき10,000円

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	見舞金支給件数	件	5	10	8	10	10
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	災害救助法の適用基準に達しない被災者及びその遺族	見舞金支給対象件数	件	5	10	8	10	10
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア	被災者の生活再建及び慰労の一助となる。	見舞金支給件数	件	5.0	10.0	8.0	10.0	10.0
イ								
ウ								

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

災害から市民の生命・財産を守るため、災害危険箇所の整備や治水対策をはじめとした各種防災事業を推進するとともに、災害発生・災害予測時に、防災情報を市民へスムーズに伝えるため、伝達方法の拡充等の環境整備を図ることにより、災害に強い防災基盤の整備に努めます。また、災害発生後においては、被災箇所の被害拡大や二次災害の防止に努めるとともに、早期復旧を図ります。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
旧国分市が昭和31年、旧隼人町が昭和44年、旧霧島町が平成5年から、それぞれ法外援護災害救助条例を制定している。合併により、市内全域に適用されることとなった。(被災者からの要望) 近隣に親族等がない被災者から、一時的な住居を確保してほしい旨の要望がある。		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0
				その他	千円	0	0	0	0
				一般財源	千円	300	840	580	840
				事業費	千円	300	840	580	840

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組)	(2) 平成30年度の成果
8件の火災に支給した。	被災直後の一時的な生活資金に充てられた。

事務事業コード	0103040102050102	事務事業名	法外援護災害救助事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	一時的な生活再建には寄与しているが、貸家については大家に救助費の1/2が支給されるなど見舞金的な要素も持ち合わせており、基本事業の意図には直接結びついていない。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	他の災害救助制度の対象とならない災害の被災者に対するセーフティネットとして有効であるので市が行う必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	対象となる全ての災害に対して、被災状況に応じた救助費を支給するため、常に100%の支給率となることから向上余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	被災直後の当座の生活を維持するセーフティネットとしての役割を有しているため、影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 市社会福祉協議会の災害見舞金事業 市社会福祉協議会にも災害見舞金(2万円)制度があり、現在も連携して対応している。委託料等のコストを考慮しつつ、社協への事務委託等の連携を検討する余地はあると思われる。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	扶助なので、給付額を下げるしか削減余地はないが、当座の生活資金として支給しているため、削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の事務で対処しており、削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業の対象となる災害には、すべて救助費を支給することとなるので、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	対象者に対して、適切に救助費を支給する。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	対象者に対して、適切に救助費を支給する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0103010403030101	事務事業名	横川健康温泉センター管理運営事業	担当部	保健福祉部		
				担当課	保健福祉政策課		
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)		担当課長	西田 正志		
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進		グループ	政策グループ		
基本事業名	01	介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実		内線番号	2023		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費			根拠法令・条例等	霧島市温泉センターの設置及び管理に関する条例	
	項	01 社会福祉費					
	目	04 社会福祉施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

横川健康温泉センターの管理事務。
 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定している。
 建物損害保険料、指定管理料の支払い、大規模修繕などを行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	施設利用者数	人	21,062	24,000	20,600	24,000	24,000
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,338	130,000	124,785	126,230	126,490
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア	健康増進と福祉の向上を図る	施設利用者数	人	21,062.0	24,000.0	20,600.0	24,000.0	24,000.0
イ								
ウ								

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

住民主体の通いの場の充実を図るとともに、理学療法士や作業療法士などの専門職を生かした自立支援に資する取組等により介護予防事業を推進します。
 また、高齢者がこれまでに培った知識と経験を生かし、生き生きと日々の生活を送り、さらに、生活支援の担い手として活躍できるよう、地域活動やボランティアの促進などに取り組みます。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成29年4月から使用料を一部改定した。
 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定した。

4. 事業費の推移		単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	7,725	10,376	10,376	9,817	9,817
	一般財源	千円	24,687	44,923	51,761	20,163	20,163
事業費		千円	32,412	55,299	62,137	29,980	29,980

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組)	(2) 平成30年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> ・施設利用者数:20,600人	<左記の実績(取組)による成果を記載> 市民の健康増進と福祉の向上が図られた。

事務事業コード	0103010403030101	事務事業名	横川健康温泉センター管理運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由		
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が自身の健康維持のため温泉を利用することは、基本事業の意図に結びつく。		
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	温泉を活用した市民の健康増進施設であり妥当である。		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	温泉を利用して自身の健康維持・増進を図ろうとする市民が増える可能性はある。		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民が健康維持・増進のために利用しており、廃止・休止は影響がある。		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	<table border="1"> <tr> <td>類似事業がある場合の事務事業名等</td> <td>滝辺ふれあい温泉センター管理運営事業 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業</td> </tr> </table> それぞれの施設が離れているため、統合できない。	類似事業がある場合の事務事業名等	滝辺ふれあい温泉センター管理運営事業 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業
	類似事業がある場合の事務事業名等	滝辺ふれあい温泉センター管理運営事業 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業		
⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	委託料は指定管理料で、毎年調整している。大規模改修については、必要最低限の整備を行っている。			
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は指定管理に係る事務処理のみなので削減できない。		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	利用者には条例に基づき負担を求めているので公平である。		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組む。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

事務事業 コード	0103010403030101	事 務 事業名	横川健康温泉センター管理運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成30年度 (決算)	平成31年度 (当初予算)	2020年度 (計画)
1	報 酬	0	0	
2	給 料	0	0	
3	職 員 手 当 等	0	0	
4	共 済 費	0	0	
5	災 害 補 償 費	0	0	
7	賃 金	0	0	
8	報 償 費	0	0	
9	旅 費	0	0	
10	交 際 費	0	0	
11	需 用 費	270	0	0
	消耗品費	0	0	
	燃料費	0	0	
	食糧費	0	0	
	印刷製本費	0	0	
	光熱水費	0	0	
	修繕料	270	0	
	賄材料費	0	0	
	飼料費	0	0	
	医薬材料費	0	0	
12	役 務 費	23	24	24
	通信運搬費	0	0	
	広告料	0	0	
	手数料	0	0	
	保険料	23	24	24
13	委 託 料	28,625	29,956	29,956
14	使用料及び賃借料	0	0	
15	工事請負費	33,219	0	
16	原 材 料 費	0	0	
17	公有財産購入費	0	0	
18	備 品 購 入 費	0	0	
19	負担金補助及び交付金	0	0	
20	扶 助 費	0	0	
21	貸 付 金	0	0	
22	補償補填及び賠償金	0	0	
23	償還金利子及び割引料	0	0	
24	投資及び出資金	0	0	
25	積 立 金	0	0	
26	寄 附 金	0	0	
27	公 課 費	0	0	
28	繰 出 金	0	0	
	計	62,137	29,980	29,980
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	10,376	9,817	9,817
	一般財源	51,761	20,163	20,163
	計	62,137	29,980	29,980

平成30年度補正・流用状況

当初予算	55,299
補正予算	7,500
補正第1号	7,500
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
流用・充用	▲ 658
予算合計	62,141

平成30当初予算には平成29年度からの繰越分を含む

平成30年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	温泉センター使用料	10,376
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
合計		10,376

1. 基本情報							
事務事業コード	0103010403030102	事務事業名	溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業		担当部	保健福祉部	
					担当課	保健福祉政策課	
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)			担当課長	西田 正志	
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進			グループ	政策グループ	
基本事業名	01	介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実			内線番号	2023	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費			根拠法令・条例等 霧島市温泉センターの設置及び管理に関する条例		
	項	01 社会福祉費					
	目	04 社会福祉施設費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

溝辺ふれあい温泉センターの管理事務。
 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定している。
 建物損害保険料、指定管理料の支払い、大規模修繕などを行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	施設利用者数	人	54,225	59,000	50,944	59,000	59,000
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,338	130,000	124,785	126,230	126,490
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア	健康増進と福祉の向上を図る	施設利用者数	人	54,225.0	59,000.0	50,944.0	59,000.0	59,000.0
イ								
ウ								

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

住民主体の通いの場の充実を図るとともに、理学療法士や作業療法士などの専門職を生かした自立支援に資する取組等により介護予防事業を推進します。
 また、高齢者がこれまでに培った知識と経験を生かし、生き生きと日々の生活を送り、さらに、生活支援の担い手として活躍できるよう、地域活動やボランティアの促進などに取り組みます。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
平成29年4月から使用料を一部改定した。 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定した。		事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0
				その他	千円	11,559	13,608	13,608	13,011
				一般財源	千円	15,822	13,140	14,392	14,624
				事業費	千円	27,381	26,748	28,000	27,635

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組)	(2) 平成30年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> ・施設利用者数:50,944人	<左記の実績(取組)による成果を記載> 市民の健康増進と福祉の向上が図られた。

事務事業コード	0103010403030102	事務事業名	溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由		
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が自身の健康維持のため温泉を利用することは、基本事業の意図に結びつく。		
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	温泉を活用した市民の健康増進施設であり妥当である。		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	温泉を利用して自身の健康維持・増進を図ろうとする市民が増える可能性はある。		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民が健康維持・増進のために利用しており、廃止・休止は影響がある。		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	<table border="1"> <tr> <td>類似事業がある場合の事務事業名等</td> <td>横川健康温泉センター管理運営事業 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業</td> </tr> </table> それぞれの施設が離れているため、統合できない。	類似事業がある場合の事務事業名等	横川健康温泉センター管理運営事業 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業
	類似事業がある場合の事務事業名等	横川健康温泉センター管理運営事業 霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業		
⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	委託料は指定管理料で、毎年調整している。大規模改修については、必要最低限の整備を行っている。			
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は指定管理に係る事務処理のみなので削減できない。		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	利用者には条例に基づき負担を求めているので公平である。		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組む。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

事務事業 コード	0103010403030102	事務 事業名	溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成30年度 (決算)	平成31年度 (当初予算)	2020年度 (計画)
1	報酬	0	0	
2	給料	0	0	
3	職員手当等	0	0	
4	共済費	0	0	
5	災害補償費	0	0	
7	賃金	0	0	
8	報償費	0	0	
9	旅費	0	0	
10	交際費	0	0	
11	需用費	713	300	300
	消耗品費	0	0	
	燃料費	0	0	
	食糧費	0	0	
	印刷製本費	0	0	
	光熱水費	0	0	
	修繕料	713	300	300
	賄材料費	0	0	
	飼料費	0	0	
	医薬材料費	0	0	
12	役務費	19	20	20
	通信運搬費	0	0	
	広告料	0	0	
	手数料	0	0	
	保険料	19	20	20
13	委託料	27,268	27,315	27,315
14	使用料及び賃借料	0	0	
15	工事請負費	0	0	
16	原材料費	0	0	
17	公有財産購入費	0	0	
18	備品購入費	0	0	
19	負担金補助及び交付金	0	0	
20	扶助費	0	0	
21	貸付金	0	0	
22	補償補填及び賠償金	0	0	
23	償還金利子及び割引料	0	0	
24	投資及び出資金	0	0	
25	積立金	0	0	
26	寄附金	0	0	
27	公課費	0	0	
28	繰出金	0	0	
	計	28,000	27,635	27,635
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	13,608	13,011	13,011
	一般財源	14,392	14,624	14,624
	計	28,000	27,635	27,635

平成30年度補正・流用状況

当初予算	26,748
補正予算	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
流用・充用	1,253
予算合計	28,001

平成30当初予算には平成29年度からの繰越分を含む

平成30年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	温泉センター使用料	13,608
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
合計		13,608

1. 基本情報								
事務事業コード	0103010403030103	事務事業名	霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業			担当部	保健福祉部	
						担当課	保健福祉政策課	
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)				担当課長	西田 正志	
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進				グループ	政策グループ	
基本事業名	01	介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				内線番号	2023	
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費				根拠法令・条例等	霧島市温泉センターの設置及び管理に関する条例	
	項	01 社会福祉費						
	目	04 社会福祉施設費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島温泉健康増進交流センターの管理事務。
 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定している。
 建物損害保険料、指定管理料の支払い、大規模修繕などを行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	施設利用者数	人	20,189	43,000	23,417	43,000	43,000
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,338	130,000	124,785	126,230	126,490
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア	健康増進と福祉の向上を図る	施設利用者数	人	20,189.0	43,000.0	23,417.0	43,000.0	43,000.0
イ								
ウ								

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

住民主体の通いの場の充実を図るとともに、理学療法士や作業療法士などの専門職を生かした自立支援に資する取組等により介護予防事業を推進します。
 また、高齢者がこれまでに培った知識と経験を生かし、生き生きと日々の生活を送り、さらに、生活支援の担い手として活躍できるよう、地域活動やボランティアの促進などに取り組みます。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
平成29年4月から使用料を一部改定した。 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定した。		事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0
				その他	千円	7,530	11,434	11,434	11,681
				一般財源	千円	33,863	16,036	17,363	19,147
				事業費	千円	41,393	27,470	28,797	30,828

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組)	(2) 平成30年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> ・施設利用者数:23,417人	<左記の実績(取組)による成果を記載> 市民の健康増進と福祉の向上が図られた。

事務事業コード	0103010403030103	事務事業名	霧島温泉健康増進交流センター管理運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	市民が自身の健康維持のため温泉を利用することは、基本事業の意図に結びつく。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？	温泉を活用した市民の健康増進施設であり妥当である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	温泉を利用して自身の健康維持・増進を図ろうとする市民が増える可能性はある。	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	市民が健康維持・増進のために利用しており、廃止・休止は影響がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	横川健康温泉センター管理運営事業 溝辺ふれあい温泉センター管理運営事業
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	それぞれの施設が離れているため、統合できない。	
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	委託料は指定管理料で、毎年調整している。大規模改修については、必要最低限の整備を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	人件費は指定管理に係る事務処理のみなので削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	利用者には条例に基づき負担を求めているので公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組む。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0103010403030104	事務事業名	国分総合福祉センター管理運営事業		担当部	保健福祉部
					担当課	保健福祉政策課
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)			担当課長	西田 正志
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進			グループ	政策グループ
基本事業名	01	介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実			内線番号	2023
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	款	03 民生費				
	項	01 社会福祉費				
	目	04 社会福祉施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国分総合福祉センターの管理事務。
 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定している。
 建物損害保険料、指定管理料の支払い、大規模修繕などを行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 施設利用者数	人	37,860	46,000	39,941	46,000	46,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 高齢者	市内の高齢者数	人	33,909	33,182	34,395	34,087	34,582
イ 身体障害者	市内の身体障害者手帳所持者数	人	6,021	6,650	5,975	6,650	6,650
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア 健康の増進、教養の向上及び福祉の増進を図る	施設利用件数	件	37,860.0	46,000.0	39,941.0	46,000.0	46,000.0
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

住民主体の通いの場の充実を図るとともに、理学療法士や作業療法士などの専門職を生かした自立支援に資する取組等により介護予防事業を推進します。
 また、高齢者がこれまでに培った知識と経験を生かし、生き生きと日々の生活を送り、さらに、生活支援の担い手として活躍できるよう、地域活動やボランティアの促進などに取り組みます。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成29年4月から使用料を一部改定した。
 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定した。

4. 事業費の推移		単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	727	879	879	835	835
	一般財源	千円	22,430	21,319	22,133	20,095	20,095
投入量	事業費	千円	23,157	22,198	23,012	20,930	20,930

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成30年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・施設利用者数:39,941人	高齢者等の健康増進と福祉の向上が図られた。

事務事業コード	0103010403030104	事務事業名	国分総合福祉センター管理運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国分総合福祉センターは、高齢者の生きがいづくり等を目的とした各種団体の集会の場となっており、基本事業の意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	福祉活動を行う団体のうち、社会基盤を持たない或いは経済的基盤の弱い団体が利用可能な交流・集会の場を提供することは、公共の福祉につながるため、市が行う必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	活動する団体の数や活動頻度が増える余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	安価で利用できる交流・集会の場が減ることで、高齢者の生きがいづくり等を目的とした各種団体の活動の縮小につながるなどの影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 単人総合福祉センター管理運営事業 それぞれの施設が離れているため、統合できない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	委託料は指定管理料で、毎年調整している。大規模改修については、必要最低限の整備を行っている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は指定管理に係る事務処理のみなので削減できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	利用者には条例に基づき負担を求めているので公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組む。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	・指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

9. コストの推移

(単位:千円)	平成30年度 (決算)	平成31年度 (当初予算)	2020年度 (計画)	
1 報 酬	0	0		
2 給 料	0	0		
3 職 員 手 当 等	0	0		
4 共 済 費	0	0		
5 災 害 補 償 費	0	0		
7 賃 金	0	0		
8 報 償 費	0	0		
9 旅 費	0	0		
10 交 際 費	0	0		
11 需 用 費	2,592	0	0	
消耗品費	0	0		
燃料費	0	0		
食糧費	0	0		
印刷製本費	0	0		
光熱水費	0	0		
修繕料	2,592	0		
賄材料費	0	0		
飼料費	0	0		
医薬材料費	0	0		
12 役 務 費	21	22	22	
通信運搬費	0	0		
広告料	0	0		
手数料	0	0		
保険料	21	22	22	
13 委 託 料	20,399	20,908	20,908	
14 使用料及び賃借料	0	0		
15 工事請負費	0	0		
16 原材料費	0	0		
17 公有財産購入費	0	0		
18 備品購入費	0	0		
19 負担金補助及び交付金	0	0		
20 扶 助 費	0	0		
21 貸 付 金	0	0		
22 補償補填及び賠償金	0	0		
23 償還金利子及び割引料	0	0		
24 投資及び出資金	0	0		
25 積 立 金	0	0		
26 寄 附 金	0	0		
27 公 課 費	0	0		
28 繰 出 金	0	0		
計	23,012	20,930	20,930	
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	879	835	835
	一般財源	22,133	20,095	20,095
計	23,012	20,930	20,930	

平成30年度補正・流用状況

当初予算	22,198
補正予算	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
流用・充用	816
予算合計	23,014

平成30当初予算には平成29年度からの繰越分を含む

平成30年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	福祉センター使用料	879
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
合 計		879

1. 基本情報								
事務事業コード	0103010403030105	事務事業名	隼人総合福祉センター管理運営事業			担当部	保健福祉部	
					担当課	保健福祉政策課		
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)				担当課長	西田 正志	
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進				グループ	政策グループ	
基本事業名	01	介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				内線番号	2023	
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費				根拠法令・条例等	霧島市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例	
	項	01 社会福祉費						
	目	04 社会福祉施設費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

隼人総合福祉センターの管理事務。
 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定している。
 建物損害保険料、指定管理料の支払い、大規模修繕などを行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 施設利用者数	人	4,021	3,700	3,808	3,700	3,700
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 高齢者	市内の高齢者	人	33,909	33,182	34,395	34,087	34,582
イ 身体障害者	市内の身体障害者手帳所持者	人	6,021	6,650	5,975	6,650	6,650
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア 健康の増進 教養の向上及び福祉の増進を図る	施設利用者数	人	4,021.0	3,700.0	3,808.0	3,700.0	3,808.0
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

住民主体の通いの場の充実を図るとともに、理学療法士や作業療法士などの専門職を生かした自立支援に資する取組等により介護予防事業を推進します。
 また、高齢者がこれまでに培った知識と経験を生かし、生き生きと日々の生活を送り、さらに、生活支援の担い手として活躍できるよう、地域活動やボランティアの促進などに取り組みます。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	4. 事業費の推移	投入量	単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
			平成29年4月から使用料を一部改定した。 平成31年度(令和元年度)から令和5年度まで、霧島市社会福祉協議会を指定管理者として指定した。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費	千円	0	0	0
		千円	0	0	0	0	0	
		千円	0	0	0	0	0	
		千円	3,795	232	232	279	279	
		千円	7,183	10,207	9,678	12,593	12,593	
		千円	10,978	10,439	9,910	12,872	12,872	

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成30年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・施設利用者数:3,808人	高齢者及び身体障害者等の健康の増進と福祉の向上が図られた。

事務事業コード	0103010403030105	事務事業名	単人総合福祉センター管理運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	たすけあいを推進するための交流の場になるとともに、地域の見守りネットワークの強化や福祉活動者及び活動団体の集会の場であり、基本事業の意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	福祉活動を行う団体のうち、社会基盤を持たない或いは経済的基盤の弱い団体が利用できる交流・集会の場を提供することは、公共の福祉につながるので市が行う必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	活動する団体の数や活動頻度が増える余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	福祉活動を行う団体が安価で利用できる交流・集会の場が減ること、活動の縮小につながるなどの影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 国分総合福祉センター管理運営事業 それぞれの施設が離れているため、統合できない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	委託料は指定管理料で、毎年調整している。大規模改修については、必要最低限の整備を行っている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費は指定管理に係る事務処理のみなので削減できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	利用者には条例に基づき負担を求めているので公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進に取り組む。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	・指定管理者と連携し、安心・安全な施設の維持と管理経費の抑制、利用促進を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0103010103030401	事務事業名	健康福祉まつり開催事業	担当部	保健福祉部	
				担当課	保健福祉政策課	
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)		担当課長	西田 正志	
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進		グループ	政策グループ	
基本事業名	04	住民参加と互いに支えあう地域福祉の推進		内線番号	2021	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費		根拠法令・条例等 霧島市健康福祉まつり実行委員会規約		
	項	01 社会福祉費				
	目	01 社会福祉総務費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

平成21年度に医療及び福祉関係等の団体が構成する「霧島市健康福祉まつり実行委員会」を設立し、霧島市との共催により、市民の健康づくり並びに福祉の推進のため、市民総ぐるみの啓発活動を実施することを目的として健康福祉まつりを開催した。

イベント内容・・・【市民会館】霧島市民表彰、健康づくり功労者表彰、8020運動達成者表彰、健康福祉作品展表彰、善行表彰、花いっぱいコンクール入賞者表彰、社会福祉功労者表彰講演会 【シビックセンター】医療・福祉に関する普及啓発

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	29年度	30年度		31年度	2020年度
		(実績)	(見込)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 来場者数(延人数)	人	4,063	4,000	5,013	4,000	4,000
イ 参加団体数	団体	38	34	37	34	34
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度		31年度	2020年度
			(実績)	(見込)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 市民	市民	人	125,338	130,000	124,785	130,000	130,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度		31年度	2020年度
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 健康及び福祉に関する意識を向上させる	日頃、自分の健康のために心がけていることが特に何もない人の割合	%	—	10.0	—	10.0	10.0
イ 健康及び福祉に関する意識を向上させる	健康や栄養に関する学習の場に参加したことがある人の割合	%	—	37	—	37	37
ウ							

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地域包括ケアシステムの構築に向けて、自治会等の既存のコミュニティはもとより、民生委員、在宅福祉アドバイザーをはじめとする地域のボランティアやNPO、ボランティア団体、民間事業者等の地域の様々な活動主体とのネットワークを強化します。
また、ボランティア活動のうち、特に地域における支え合いを促進するため、ボランティア養成体制の強化を図ります。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	4. 事業費の推移	単位	29年度	30年度		31年度	2020年度	
			(決算)	(予算)	(決算)	(予算)	(計画)	
合併後のイベント調整会議において、社会福祉大会と健康大会を統一し、平成19年度より開催。 平成21年度に実行委員会を設立し、市と共催で開催。平成30年度から「霧島市民表彰」、「霧島市道義高揚・豊かな心推進大会」と同時開催となった。 (来場者からの意見)・様々なブースがあり、とても楽しく回れました。・講演会を楽しみに、イベントも楽しみです。・自分の健康について、知る事ができて良かった。 楽しかった、勉強になった、良かったという意見多数。	事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	2,038	2,038	2,038	1,834	1,834
		事業費	千円	2,038	2,038	2,038	1,834	1,834

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組)	(2) 平成30年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> 【市民会館】これまでの表彰に加え、市民表彰、善行表彰を実施し、講演会を開催。入場者数は約1,000人 【シビックセンター】医療・福祉団体による展示・体験型イベント 延べ5,013人 全戸配布のチラシに参加団体の実施内容等を記載した。スタンプラリー参加者:439人	<左記の実績(取組)による成果を記載> ・市民参画型のまつり形態の実施により多くの市民の参加があった。 ・イベントの同時開催により、参加者が多かった。 ・把握している参加者数は前年度より増加し、来場者からは色々な体験ができた、健康に関する意識が高まったとの意見が多数あり、健康づくり並びに福祉の推進に対する意識向上につながった。

事務事業コード	0103010103030401	事務事業名	健康福祉まつり開催事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	健康福祉まつりの開催により、市民が自分の健康増進及び福祉への理解を深め、健康づくり並びに福祉の推進のため、市民総ぐるみの啓発活動を実施することを目的としていることから、結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の健康増進並びに福祉の推進は、市の責務である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民参画型のまつり形態であり、団体の協力により多くの情報等を提供することで、多くの市民の参加が見込まれ、健康づくり並びに福祉の推進につながり、向上する余地はある程度ある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	補助金の廃止により、開催不可能になることから、健康づくりや福祉の推進の機会が減り影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 市主催の健康講座等の講演会等 健康や福祉に関する講演会等は開催されているが、福祉功労者の表彰の機会や保健・福祉に関する実演・展示等は統合できるような類似の事業はない。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金の使途は、実行委員会委員の手当やまつりにかかる経費であり、削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	出展団体からのボランティア等により、市職員の負担軽減を実現させることは可能である。市職員の人件費は配置等の工夫により準備及び当日の延べ人数を減らすことにより削減できる。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	参加は全市民を対象としているので、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	昨年度に引き続き、「霧島市民表彰」、「道義高揚・豊かな心推進大会」と同時開催を行い、事務の合理化を図る。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	より多くの市民に様々な健康増進及び福祉に関する情報を提供するため、シビックセンター内の出展ブースについて新規出展を募る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0103010103030402	事務事業名	社会福祉協議会運営支援事業	担当部	保健福祉部	
				担当課	保健福祉政策課	
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)		担当課長	西田 正志	
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進		グループ	政策グループ	
基本事業名	04	住民参加と互いに支えあう地域福祉の推進		内線番号	2023	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	款	03 民生費				
	項	01 社会福祉費				
	目	01 社会福祉総務費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

社会福祉協議会の運営費補助として補助金を交付する。

(社会福祉協議会の活動内容)
霧島市における社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動(ボランティア活動、相談事業等の各種事業)の活性化により、地域福祉の増進を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 社会福祉協議会予算額(一般会計 経常活動分)	千円	884,419	700,000	768,182	700,000	700,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 社会福祉協議会	社会福祉協議会予算額(一般会計 経常活動分)	千円	884,419	700,000	786,182	700,000	700,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア 社会福祉協議会の組織体制、活動の強化が図られる。	霧島市社会福祉協議会会員数	人	30,330.0	32,000.0	30,040.0	32,000.0	30,040.0
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地域包括ケアシステムの構築に向けて、自治会等の既存のコミュニティはもとより、民生委員、在宅福祉アドバイザーをはじめとする地域のボランティアやNPO、ボランティア団体、民間事業者等の地域の様々な活動主体とのネットワークを強化します。
また、ボランティア活動のうち、特に地域における支え合いを促進するため、ボランティア養成体制の強化を図ります。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	4. 事業費の推移	投入量	事業費	単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
				平成17年の霧島市社会福祉協議会の発足に伴い開始された。合併後に補助内容の統一を図った。	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費	千円	0	0	0
				千円	0	0	0	0	0
				千円	0	0	0	0	0
				千円	47,879	48,845	48,845	49,434	49,434
				千円	47,879	48,845	48,845	49,434	49,434

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成30年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
活動支援として法人運営を支援するため、運営補助金4,884万5千円を交付した。	霧島市における社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動(ボランティア活動、相談事業等の各種事業)の活性化、地域福祉の増進が図られた。

事務事業コード	0103010103030402	事務事業名	社会福祉協議会運営支援事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	社会福祉協議会の主な事業は、ボランティア活動等の社会福祉事業であり、住民が互いに支えあう地域福祉に結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会福祉事業の発展、市民福祉の推進を図るのは市の責務である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	社会福祉協議会の組織体制、活動の強化が図られることで、社会福祉協議会会員やボランティア活動参加人数の増加が期待される。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	補助金を廃止されると財政状況が厳しくなり活動が縮小され、地域福祉の推進等に支障が生じる恐れが出る等の影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	社会福祉協議会の自主事業(介護保険事業)の拡充等により、経営収支が改善されれば、ある程度の削減はできる。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業に係る事務は、補助金交付・精算業務であり、人件費の削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	同会は市内全域で地域に根差した福祉活動を行っており、公平性が確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	法人の経営収支が改善されれば、補助金の減額が可能であると考えられる。このため、自主事業(介護保険事業)の拡充、不採算事業の整理等により、経営収支の改善に取り組むよう促す。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	自主財源のみでの運営を目指し、経営収支の改善に取り組むよう促す。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0103010103030404	事務事業名	民生委員活動支援事業	担当部	保健福祉部	
				担当課	保健福祉政策課	
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)		担当課長	西田 正志	
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進		グループ	政策グループ	
基本事業名	04	住民参加と互いに支えあう地域福祉の推進		内線番号	2021	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ー 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	款	03 民生費				
	項	01 社会福祉費				
	目	01 社会福祉総務費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

民生委員児童委員協議会連合会とは、旧7市町の協議会を取りまとめるために組織された任意団体である。本事業は、同連合会に補助金を交付することにより、民生委員児童委員が行う活動及び運営に対して支援を行うものである。

【民生委員児童委員の主な活動内容】
 ①地域住民の身近な相談 ②様々な福祉施策やサービス内容の把握・周知 ③必要な福祉サービスが受けられるための援助 ④担当区域内の実態把握 等

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 補助額	千円	41,197	40,225	40,225	40,312	40,312
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 民生委員児童委員	民生委員児童委員数	人	284	284	284	286	286
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア 住民の実態及び地域の福祉需要等を日常的に把握する。	相談・支援件数	件	11,423.0	13,000.0	11,424.0	13,000.0	13,000.0
イ	活動日数	日	42,155	43,000	43,287	43,000	13,000
ウ							

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地域包括ケアシステムの構築に向けて、自治会等の既存のコミュニティはもとより、民生委員、在宅福祉アドバイザーをはじめとする地域のボランティアやNPO、ボランティア団体、民間事業者等の地域の様々な活動主体とのネットワークを強化します。また、ボランティア活動のうち、特に地域における支え合いを促進するため、ボランティア養成体制の強化を図ります。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)	
昭和23年7月の民生委員法施行後に事業開始。高齢者世帯や子育て世帯等を取りまく環境の変化、住民の福祉ニーズの多様化のため、民生委員児童委員の活動内容が複雑化してきている。このような状況から、新たな民生委員児童委員の推薦を辞退されるケースが多く、委員の確保が大変困難になっている。高齢者・少子化対策が問われる中、地域住民の相談窓口として民生委員児童委員の存在は大変大きいという市民の意見がある。		投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
				県支出金	千円	0	0	0	0	0
				地方債	千円	0	0	0	0	0
				その他	千円	0	0	0	0	0
				一般財源	千円	41,213	40,263	40,257	41,142	41,142
				事業費	千円	41,213	40,263	40,257	41,142	41,142

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成30年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
11万円×284名=31,240,000円の補助金及び研修補助金3,095,600円、連合会運営補助金等で合計40,225,000円を交付した。	毎月の定例会や各種研修を通じて、地域と専門機関を結ぶつなぎ役としての資質の向上や活動の活性化が図られた。

事務事業コード	0103010103030404	事務事業名	民生委員活動支援事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	社会福祉の増進に努める民生委員児童委員の活動を支援することは基本事業の意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場にたつて相談に応じ、必要な援助を行っている民生委員児童委員が行う活動に対しての支援であるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	高齢者の増加や子育て支援の充実等に伴い、相談対応や支援の取組が今後増加することで成果が向上する余地はある程度ある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	民生委員児童委員の活動に多大な影響を及ぼすこととなり、結果として地域福祉の衰退につながる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	民生委員児童委員は無報酬で活動しており、補助金の使途は活動費に限られている。そのため、補助金の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の人員で事務処理をしているため、削減余地は無い。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	民生委員児童委員協議会連合会に対し補助金を交付し、同会を通じて全委員に対し活動費が支給されているため、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	現在も行っている県及び市主催の研修会等に、今年度も多くの民生委員児童委員に参加してもらうことにより、相談対応スキルの向上や最新の各種支援策を取得してもらい、住民ニーズに即した活動を行っているよう支援していく。 また、今年度は一斉改選の年であり、これまでの定員284人から286人へ増員となるが、充足率100%に取り組んでいく。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	引き続き、民生委員児童委員が最も身近なところで住民の立場にたつた活動ができるよう支援していく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0103010103030405	事務事業名	保護司会支援事業		担当部	保健福祉部	
					担当課	保健福祉政策課	
政策名	03	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)			担当課長	西田 正志	
施策名	03	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進			グループ	政策グループ	
基本事業名	04	住民参加と互いに支えあう地域福祉の推進			内線番号	2022	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則	
	項	01 社会福祉費					
	目	01 社会福祉総務費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

始良保護区保護司会霧島支部に運営費補助として補助金を交付する。
 【保護司会の活動】
 犯罪をした人や非行のある少年を社会の中で適切に処遇することにより、その再犯を防ぎ、非行をなくし、これらの人たちが自立し改善更生することを手助けすることで、社会を保護し、個人と公共の福祉を増進しようとする活動を行う。
 社会の中での立ち直りを助けるためには、地域の方々から、更生保護に対する理解と協力を得ることが必要不可欠であり、これは犯罪や非行のない誰もが暮らしやすい社会づくりを目指すことにもつながることとなる。
 保護司の主な職務:保護観察を受けている人と面接を行い指導や助言をすること、刑務所や少年院に入っている人の帰住先の生活環境を調整すること、犯罪を予防するために啓発活動を行うこと等。 ※7月は「社会を明るくする運動」の強化月間

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	街頭広報・ミニ集会等の回数	回	50	50	50	50	50
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア	保護司会	会員数	人	51	50	51	50	50
イ	保護観察者	保護観察者数	人	34	30	43	30	30
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア	円滑な運営ができる	会員数	人	51.0	50.0	51.0	50.0	50.0
イ	更生を支援してもらえる	保護観察者数	人	34	30	43	30	30
ウ								

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地域包括ケアシステムの構築に向けて、自治会等の既存のコミュニティはもとより、民生委員、在宅福祉アドバイザーをはじめとする地域のボランティアやNPO、ボランティア団体、民間事業者等の地域の様々な活動主体とのネットワークを強化します。
 また、ボランティア活動のうち、特に地域における支え合いを促進するため、ボランティア養成体制の強化を図ります。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

旧市町においてそれぞれ補助金を交付していたが、確認できる中で最も早く補助金を出していたのは、牧園支部の昭和40年であった。霧島市には、旧市町それぞれで保護司会7団体があったが、平成21年度から合併して始良保護区保護司会霧島支部として活動している。(保護司会より)霧島市は県内でも人口当たりの犯罪発生率が高く要保護観察者が多い地区である。保護司はその一人一人に接して更生のため日夜努力しているが、担い手は少なく、組織の維持に苦慮している。

4. 事業費の推移

		単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,306	2,229	2,229	1,306
		事業費	千円	1,306	2,229	2,229	1,306
投入量							

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組)	(2) 平成30年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載>	<左記の実績(取組)による成果を記載>
罪を犯した者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪予防のため7月を強化月間とする「社会を明るくする運動」等の啓発活動を行った。 犯罪を犯した人が仕事に就き善良な社会の一員として改善更生することを支援する協力雇用主会の設立を行った。 青少年の健全育成と更生支援をより充実し、安心安全な地域づくりに貢献するために始良保護区保護司会が「あいら青少年問題相談室」を開設し、青少年や保護者等の相談を受けた。 広報誌や霧島市HPでの広報について協力を行った。	活動費用の助成をすることで、保護司会の活動の充実が図られ、もって要保護観察者の再犯防止と、安心・安全なまちづくりに大きく寄与している。 広報誌や霧島市HPでの広報について協力を行うことで、活動を周知してもらうことができた。 また、今年度は補助金を増額し、始良保護区保護司会事務所(サポートセンター)の環境整備(雨漏り修繕)を行った。

事務事業コード	0103010103030405	事務事業名	保護司会支援事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	保護司会に対して、保護司法第17条の支援の一環として地方公共団体が必要な協力をを行い活動を支援することで、地域住民に対する犯罪予防等の啓発活動につながることから、結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在の保護司数は定員を満たしていないことから、保護司増により、さらなる犯罪者の改善更生を助けるとともに、非行・犯罪予防の強化を図ることができる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	犯罪予防に関する取組みの充実が図られ、活動が増加してきており、削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	犯罪をした者及び非行のある少年の改善更生を助けるとともに、犯罪・非行の予防のため、世論の啓発に努め、もって地域社会の浄化を図り、個人及び公共の福祉に寄与する活動を支援することとなることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	保護司の活動は、要保護観察者の再犯防止と、安心・安全なまちづくりに大きく寄与しているため、引き続き保護司会に対する補助を行っていく。また、現在の保護司数は、定員を満たしていないことから、保護司増に向けた取組みを市が支援していくことで保護司の確保を図る。							
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	保護司の活動は、要保護観察者の再犯防止と、安心・安全なまちづくりに大きく寄与しているため、引き続き保護司会に対する補助を行うとともに、市が担うべき支援を行っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

1. 基本情報							
事務事業コード	0103010105020401	事務事業名	遺族会連合会支援事業	担当部	保健福祉部		
				担当課	保健福祉政策課		
政策名	05	きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)		担当課長	西田 正志		
施策名	02	人権の尊重と男女共同参画の推進		グループ	政策グループ		
基本事業名	04	平和意識の醸成		内線番号	2022		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 23 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費			根拠法令・条例等 霧島市補助金等交付規則		
	項	01 社会福祉費					
	目	01 社会福祉総務費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

遺族の活動を補助することにより、会員の福祉の向上及び平和活動の推進に資する。市が交付する補助金は、霧島市遺族会連合会の運営補助金として同会の活動に係る経費の一部として使用されている。同会は、戦没者の遺族(父母、妻、兄弟、遺児)を主として構成する任意団体であり、県、市主催の追悼式等に参加している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人	369	360	391	360	360
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 霧島市遺族会連合会	霧島市遺族会連合会の会員数	人	283	283	278	278	278
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア 慰霊祭・追悼式等の活動が継続できる。	各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人	369.0	360.0	391.0	360.0	360.0
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

国分溝辺特攻慰霊祭、市戦没者追悼式等を通じて、次の世代へ途切れることなく、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めるための取組を推進します。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

市主催の慰霊祭及び追悼式並びに県主催の慰霊祭等に参加するために実施している。遺族会の会員が高齢のため、年々会員数が減少している。

4. 事業費の推移

単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)		
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	982	970	868	967	967
	事業費	千円	982	970	868	967	967

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成30年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
活動支援として運営を支援するため、運営補助金17万円を交付した。	戦没者遺族は高齢化し減少しているが、遺族の活動を補助することにより、会員の福祉の向上及び平和活動の推進につながっている。

事務事業コード	0103010105020401	事務事業名	遺族会連合会支援事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	戦没者遺族の福祉の増進、平和活動の推進に資するものであるため、意図に結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	戦没者の追悼は、行政の責務であり、その一端を担う遺族会に対する補助は妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	遺族会会員は基本的に新規加入がなく、高齢化が進み会員数が減少しているため、向上する余地はほとんどない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	会員が高齢化し、会員数も減少していることから、補助金を廃止すると活動に影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、会員一人あたりの最低限の活動助成額として補助単価を定めているので、会員数の減によって補助額は減るが、それ以外に削減することはできない。(補助金額=@600円×会員数)
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業に係る事務は、補助金交付・精算業務であり、人件費の削減はできない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	同会は、戦没者の遺族(父母、妻、兄弟、遺児)を主として構成している任意団体であり、他に類似の団体はなく、また、受益者に偏りはない。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	会員数の減少により、補助額は減少傾向にあるが、その他は現行維持、継続。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	会員数の維持・増加に努めるよう働きかける。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0103010105020402	事務事業名	戦没者追悼式開催事業	担当部	保健福祉部		
				担当課	保健福祉政策課		
政策名	05	きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)		担当課長	西田 正志		
施策名	02	人権の尊重と男女共同参画の推進		グループ	政策グループ		
基本事業名	04	平和意識の醸成		内線番号	2022		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ー 不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	03 民生費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 社会福祉費				なし	
	目	01 社会福祉総務費				なし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

先の大戦において亡くなられた戦死者及び戦災死者に追悼の誠を捧げるとともに、平和を祈念する。

- ・開催時期・・・11月中旬から下旬
- ・会場・・・概ね隼人農村環境改善センター
- ・参加者・・・戦没者遺族、来賓(市議、県議、その他)、一般市民
- ・主催者・・・霧島市

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 戦没者追悼式参加者数	人	170	180	160	160	160
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (実績)	31年度 (見込)	2020年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,338	130,000	124,785	126,230	126,490
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (実績)	31年度 (目標)	2020年度 (目標)
ア 戦災死者に追悼の誠を捧げるとともに、平和を祈念する	戦没者追悼式参加者数	人	170.0	180.0	160.0	160.0	160.0
イ							
ウ							

(3) 総合計画との関係

⑥ 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

国分溝辺特攻慰霊祭、市戦没者追悼式等を通じて、次の世代へ途切れることなく、市民が平和の大切さや命の尊さへの理解を深めるための取組を推進します。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

終戦後、戦没者の慰霊と遺族に対する哀悼の誠を捧げるため開催された。遺族の高齢化が進み、追悼式の参加者が年々減ってきている。平成30年度の新たな取組として、次世代への継承の観点から、市内の小中学生に参加してもらい、献花やメッセージ朗読を行った。平成31年度以降についても継続する予定である。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (決算)	31年度 (予算)	2020年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	114	121	119	124	124
事業費		千円	114	121	119	124	124

5. 平成30年度の実績及び成果

(1) 平成30年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成30年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

先の大戦において亡くなられた戦死者及び戦災死者を追悼するとともに、平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催した。(平成18年以降、毎年実施している。)

平成30年度の新たな取組として、次世代への継承の観点から、市内の小中学生に参加してもらい、献花やメッセージ朗読を行った。平成31年度以降についても継続する予定である。

平成30年度の新たな取組として、市内の小中学生に参加してもらったが、遺族会会員の高齢化に伴い、会員数が減少していることから、参加者数は前年に比べ減少した。

事務事業コード	0103010105020402	事務事業名	戦没者追悼式開催事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	先の大戦において亡くなられた戦死者及び戦災死者に追悼の誠を捧げるとともに平和を祈念する事業であり、平和意識の醸成を図ることができるため、意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国、県及び他市町村においても同事業を実施しており、開催趣旨からも市が実施すべき事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	対象を市民としているが、遺族の参列がほとんどのため、年々参加者が通減している。市広報誌や新聞等により広報の充実に努め、追悼式参列者の増加を図ることで成果が向上する余地はある程度ある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	国、県及び他市町村においても同事業を実施していること、また、遺族等の思いを考慮すれば、本事業を廃止することは適切ではない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 鹿兒島県戦没者追悼式 霧島市特攻慰霊祭 慰霊対象が異なるため、統合・連携は困難である。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最低限の経費で実施しているため、削減余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事業は、部内職員の協力を得て実施しており、業務時間は必要最低限のものであることから、削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は全市民を参加対象としているので、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1) 2020年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2) 平成31年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	戦没者の追悼と平和の志を後世に引き継ぐべく、広く追悼式への参加を呼びかけるため、市広報誌、新聞等により広報の充実に努め、追悼式参列者の増加を図るとともに、次世代への継承の観点から、平成31年度についても引き続き小中学生に参加してもらい、平和を考える機会とする。						
(3) 2020年度の方向性(具体的な取組)	戦没者の追悼と平和の志を後世に引き継ぐべく、追悼式参列者の増加を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評							

